

## 和歌山城 和歌山県和歌山市 1 番丁 3

天正 13 年 (1585) に紀州を平定した豊臣秀吉が弟の秀長に築城させたのが始まりです。その築城を担当したのが、築城の名人藤堂高虎でした。まず、秀長の城代として桑山重晴 (くわやましげはる) が入り、慶長 5 年 (1600) には、関ヶ原の戦いで功をたてた浅野幸長 (あさのよしなが) が入城。そして、元和 5 年 (1619) には徳川家康の第 10 男・頼宣 (よりのぶ) が入城し紀州 55 万 5 千石の城となり、以来、水戸・尾張と並び、徳川御三家のひとつとして、長い歴史を刻んできました。第 8 代将軍徳川吉宗、第 14 代将軍徳川家茂を排出した紀州藩紀州徳川家の居城です。また姫路城、松山城と並んで日本三大連立式平山城のひとつでもあります(パンフなど)。



お濠の幅は広い



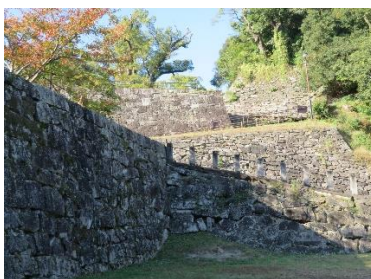
大手門(当初は市の橋御門)



瓦には三つ葉葵



伏虎像



本丸への登り口



綺麗な切り込み接ぎ



岡口門(大手門から搦手門になる)



武者走りの石垣



岡口門の俯瞰



七福の庭



多くの狭間がある



同城の特徴ある石落とし



観光スポット



連立天守入口と唐破風



三つ葉葵



瓦の歴史



三つ葉葵



刻印の石が多数



西の丸庭園



斜めにかかる御橋廊下



足が痛く早く歩けない